

いたばし No1.実現プラン 2025

重点戦略Ⅲ ブランド戦略



新しいページをめくるように。「絵本のまち板橋」プロジェクト拡大中！

事業概要



絵本のまち板橋

オール板橋の一大プロジェクト

令和3年に策定した「いたばし No.1 実現プラン 2025」重点戦略の3つの柱のひとつである「ブランド戦略」の展開として、「絵本のまち板橋」を位置付けています。イタリア・ボローニャ国際絵本原画展の開催や外国語絵本の蔵書、印刷製本業の集積など、絵本に関する資源を活かし、絵本文化のさらなる展開・発信を区全体で推進していきます。

これにより、絵本と産業的・文化的関わりが深い板橋区で、あらゆる人が（子どもから大人、絵本をつくる人から楽しむ人など）、それぞれの関わり方で（読む、学ぶ、創る、届けるなど）、絵本でつながり、にぎわいが生まれるまちをめざします。

事業の内容



ボローニャ国際絵本原画展



第28回 いたばし国際絵本翻訳大賞



区民まつり「絵本のまちひろば」

3つの視点で事業推進

絵本文化を享受する『利用者』、絵本・絵本文化を創造する『創作者』、絵本が持つ力を区政に活かす『区による絵本の魅力・特徴の体現』の3つの視点で展開していきます。それぞれが相互に作用し、刺激し合うことで相乗効果を図ります。

利用者の視点

絵本を通じた体験、絵本にまつわる知識や技能の習得を促し、より絵本の魅力を味わえるための支援を行います。講演会やワークショップ、イベントの開催、絵本を活用した啓発活動等を実施していきます。

創作者の視点

絵本を生み出すクリエイターや絵本に携わる産業支援を通じ、絵本と絵本文化創造の後押しをします。

区立美術館や中央図書館による展覧会や翻訳コンテスト、印刷・製本関連業の展覧会、関連団体、クリエイターに焦点を当てた講演会の開催等を実施していきます。

区による絵本の魅力・特徴の体現の視点

区の刊行物や窓口、事業等を、絵本の持つ「親しみやすさ」や「分かりやすさ」といった魅力や特徴を追求し、体現した事業展開をします。

SDGs 未来都市と関連した展開、統一的なデザイン制作、絵本が想起される刊行物の作成、絵本のまちを体現する展示等を実施します。

予算

67,003 千円

※絵本のまちに関する事業全体の経費は、
予算の概要 P13 をご覧ください。

主管課・問い合わせ先

政策経営部 ブランド戦略担当課

課長 小熊 大介 Tel3579-2047

担当者 高橋 輝充 Tel3579-2515

実施の背景・目的

絵本と地域資源が生み出した絵本ブランド

区と絵本に関する歴史は、1981年に区立美術館で開催された「第1回ボローニャ国際絵本原画展」に始まります。以来、ボローニャ市とは絵本を通じた友好を重ね、2005年には友好都市交流協定を締結し、現在も交流を深めています。また、区は古くから工場集積地として発展し、印刷製本産業に関連した企業が多く立地しています。区では、こうした歴史や地域資源を活用し、絵本に関する様々な取組を行ってきました。

「絵本のまち板橋」プロジェクトは、各所管による取組から組織横断的な取組へと発展させ、関係団体・有識者等を巻き込んだ事業を展開していきます。

「国際性・芸術性」×「産業ものづくり」と「絵本」の持つ魅力を様々な角度から活用した各種事業の展開により、「絵本のまち板橋」としてのブランディングを強力に推進していきます。



屋上庭園絵本読み聞かせイベント



板橋子ども動物園
Itabashi Children's Zoo

区施設ロゴ

令和5年度の新規事業（抜粋）

事業	概要	所管課
SDGs 未来都市“いたばし”ローカライズプロジェクト	絵本のデザイン、チャレンジリーフレットを作成するなど、SDGs の普及啓発を展開する。 詳細は P15 「絵本がつなぐ持続可能都市！SDGs 未来都市“いたばし”ローカライズプロジェクト」を参照。	政策企画課
板橋区民まつりにおける「絵本のまちひろば」の出版	「日本と世界の『絵本文化』が集まり、『いま』を知り、『ひと』と出会う」をテーマに、令和4年度に続き、板橋区民まつり内でイベントを開催する。	ブランド戦略担当課※
「絵本のまち板橋」が実現する板橋区版自殺対策	詳細は P25「こころとココロのつながりを育むいのち支える地域づくり事業」を参照。	健康推進課
(仮称)「いたばしの昔ばなし」絵本化事業	区が昭和53年に発行した、「いたばしの昔話」をテーマとした絵本を作成し、小学校低学年の児童に配付することで、地域への愛着を醸成する。	生涯学習課

※令和5年度における所管課及び当初予算の計上は政策企画課

東京で一番住みたくなるまちへ！まちづくり計画が進行！！

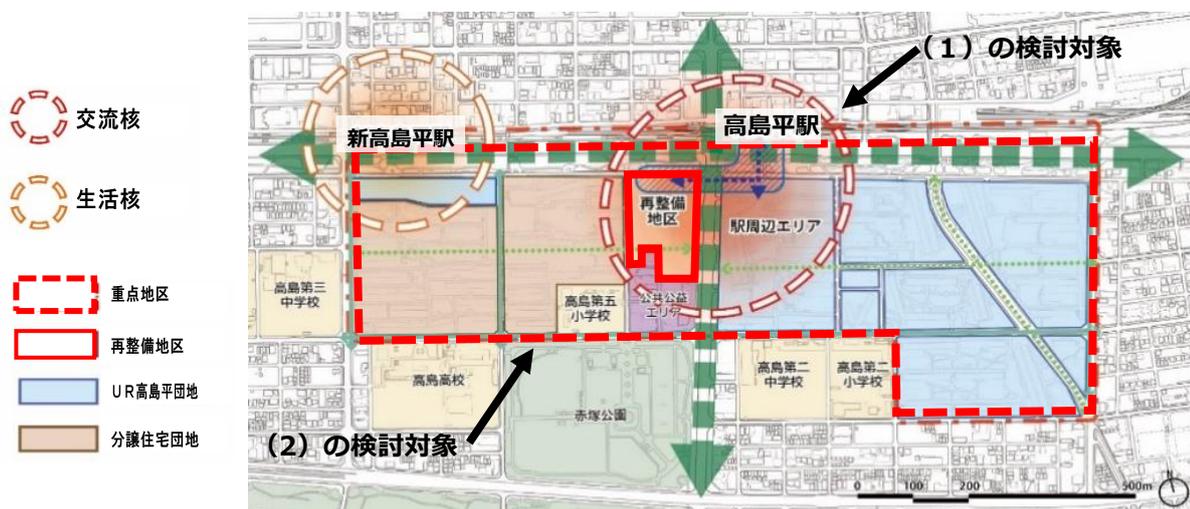
事業概要

区では、「東京で一番住みたくなるまち」の実現に向けて、「都市づくりビジョン」を策定し、SDGsを指向した、誰もが安心して暮らせる、未来へつながるまちづくりを進めています。

区のまちづくり事業では、地域や大学・企業とのさらなる連携、組織横断的な施策展開によって、若い世代の定住化や交流人口の増加など、にぎわいの創出に向け取り組み、「選ばれるまち」「住みたくなるまち」の実現をめざします。

現在4地区で、駅を中心とした沿線まちづくり事業に取り組み、快適・便利で、個性と魅力あるまちづくりを地域、住民の方々とともに進めています。

高島平地域のまちづくり



(1)交流核形成まちづくりプラン（基本構想・基本計画）の策定(令和4～5年度)

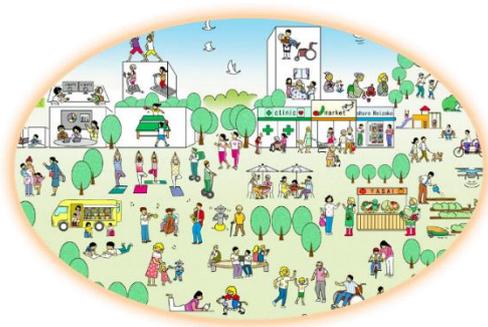
再整備地区及び駅周辺エリアを合わせた交流核エリアにおいて、令和7年度の着工をめざす第1期の展開に向けて、独立行政法人都市再生機構（UR 都市機構）と共同で検討を進めています。新しい技術や価値を取り入れながら、SDGs のめざす未来志向の持続可能なまちづくりを推進していきます。

- ・令和4年3月 UR 都市機構と都市再生の協働に基本合意
- ・令和5年度 交流核形成まちづくりプラン策定予定

(2)地区計画の策定(令和4～5年度)

旧高島第七小学校跡地の活用による老朽化した大規模住宅団地及び公共施設の適切な更新に合わせて、駅周辺にふさわしい都市機能の集積と都市空間の形成を誘導することで、交流核の形成をめざします。

- ・令和5年度 都市計画決定予定



(3)協働まちづくりの推進(令和5年度)

UDCTak 等による既存の活動をベースに発展させるかたちで、地域住民や区、UR 都市機構、大学、民間事業者等、民・学・公の多様な主体が参画し、協働でまちづくりを進めるための体制づくりを進め、地域の持続的価値向上に資する活動を創出します。

予算

高島平地域のまちづくり 30,818 千円
大山駅周辺地区のまちづくり 3,963,340 千円

主管課・問い合わせ先

まちづくり推進室
高島平グランドデザイン担当課長 牧 修造 Tel.3579-2122
まちづくり調整課長 長尾 幸久 Tel.3579-2569
鉄道立体化推進課長 菊地 利幸 Tel.3579-2575

大山駅周辺地区のまちづくり

【凡例】

- 大山まちづくり総合計画の対象区域
- 都市計画道路
- 都市計画道路(事業中)
- 商店街
- 主要施設
- 踏切
- 地下連絡通路



(1)東武東上線連続立体交差事業(都施行)

約 1.6km の区間で鉄道を高架化し、交通渋滞・踏切事故・市街地分断を解消します。

- ・令和 3 年 12 月 事業認可

(2)駅前広場の整備(区施行)

乗り換え利便性の向上やまちの顔となる公共空間の確保などに向け、整備を行います。

- ・令和 3 年 12 月 事業認可

(3)クロスポイント周辺地区市街地再開発事業(組合施行)

補助第 26 号線と商店街が交差する場所として、まちのにぎわいや商店街の活性化を図ります。

- ・令和 3 年 9 月 本体工事着手
- ・令和 6 年度 工事完了予定

(4)ピッコロ・スクエア周辺地区市街地再開発事業(組合施行)

燃えにくい建物と広場空間等を整備し、にぎわいやコミュニティの核となる拠点を整備します。

- ・令和 4 年 3 月 都市計画決定
- ・令和 5 年度 組合設立認可予定



板橋駅西口周辺地区のまちづくり

- 【凡例】
-  都市計画道路
 -  都市計画道路(事業中)
 -  歴史的な街道
 -  緑道
 -  公園
 -  まちづくり対象区域



(1)西口地区再開発事業 (組合施行)

商業・都市型住宅等の用途からなる複合的再開発ビルと広場・公園の整備をします。

- ・令和4年7月
組合設立認可
- ・令和5年度
権利変換計画認可予定



(2)板橋口地区再開発事業 (個人施行)

商業・都市型住宅のほか、公益エリアを設け、区の魅力創出・発信の拠点や多様な主体が交流できる場の整備を進めています。

- ・令和4年10月
権利変換計画認可
- ・令和4年12月
工事開始



(3)駅前広場の再整備(区施行)

駅前広場の中心にある「むすびのけやき」をシンボルに、「安心安全な駅前広場」「板橋区の玄関・顔にふさわしい駅前広場」、「にぎわいや憩いのある駅前広場」を整備目標として、2つの市街地再開発事業と連携し、再整備を進めます。

- ・令和5年度以降
再開発事業の進捗に合わせ、設計(道路・施設)、工事



(4)周辺地区のまちづくり

2つの駅前再開発事業による駅前のにぎわい向上とともに、地区全体のにぎわいや緑豊かな住環境を生かした魅力創出や景観に配慮したまちづくり推進のため地区計画をまちづくり対象区域に導入しました。また、地域団体と協力し、にぎわい創出に向けた様々な取り組みを実施しています。

- ・令和6年度以降 都市再生整備計画作成予定



地域団体と協力し、地域のにぎわい創出に向けた社会実験を実施しています。

予算

板橋駅西口周辺地区まちづくり 315,149 千円
上板橋駅南口駅前地区まちづくり 4,087,543 千円

主管課・問い合わせ先

まちづくり推進室 彼島 勲 Tel.3579-2069
地区整備課長

上板橋駅南口駅前地区のまちづくり

(1)東地区再開発事業（組合施行）

約 1.7 ヘクタールの区域に駅前広場を含めた都市計画道路などの公共施設整備と合わせて、商業・都市型住宅等の用途からなる再開発ビルを3つの街区に整備します。これにより地域の不燃化の促進や消防活動困難区域の解消を図り、災害に強く、にぎわいのあるまちづくりを推進します。

今後、権利変換計画認可を経て、解体工事等に着手していきます。

- ・令和5年2月 権利変換計画認可予定
- ・令和5年度 解体工事・道路等実施設計

【凡例】

- 東地区再開発事業
- 西地区再開発事業



(2)西地区再開発事業（組合施行）

約 0.5 ヘクタールの区域の西地区では、関係権利者の合意形成を進め、事業手法を市街地再開発事業に決定し、令和3年7月に準備組合が設立されました。今後は、事業計画の検討を行い、継続して、関係権利者の合意形成を図り、組合設立認可をめざします。

- ・令和3年7月 準備組合設立
- ・令和5年度 組合設立認可予定



東地区再開発事業完成イメージ